

●本授業案は、東京ガスネットワークで研修を受けられた先生の2016年度の実践をもとに、東京ガスネットワークにて作成いたしました。

■ 授業タイトル	
もったいないってなんだろう？身近な「もったいない」を探そう！	
■ 教科	■ 単元・テーマ
生活科(学活でも実施可能)	環境・エネルギー
■ 学年	■ 総時間
小学校1年生	1時限
■ なぜこの授業を計画されたのか(児童・生徒観)	
<p>学校全体でシチズンシップ教育に取り組んでおり、1年生では「学校内のルールやきまり」を見つけ伝え合う活動をしている。東京ガスネットワークの研修や東京ガスネットワークの“がすてなーに ガスの科学館”の見学を通して学んだ「エネルギーの大切さ」「環境への配慮」「限りあるエネルギーをどのように使っていくか」等の考えを持つ第1歩として「身近なもったいないを見つけ、生活の中で1年生でもできる行動を考えさせる」を目標に、授業を計画した。授業はシチズンシップ教育の「学校探検」の活動と関連づけることでスムーズに実施できると考えた。</p> <p>児童には日頃から「給食を残さない」「なくすもったいないから持ち物に名前を書く」などの指導はしてきていたが、自分自身でもったいないを見つけ伝えあうことで、自ら「モノを大切にしよう」という気持ちをもってもらいたいと考えた。</p> <p>また、3年生以降学ぶ資源の大切さやエネルギー問題を考える素地づくりにもなると考えた。</p>	
■ 学習目標	
<ul style="list-style-type: none"> ・学校の中、そのほかの身近な場所の「もったいない」を探し、気づいたことを先生や友達に伝えることができる。 ・「もったいない」を見つけることを通して、「モノを大切にしよう」という考えに気づく。 ・大切だと思ったことを実際に行動にうつす意欲を持つ。 	
■ 授業の概要	
<p>学校探検をふりかえり、学校の様子を思い出しながら、学校の中、またそのほかの場所で「もったいない」と思うことを考える。</p> <p>「もったいない」と思ったことを先生、友達に伝え共有する。</p> <p>「もったいない」をなくすために、これから自分ができることを考え、宣言する。</p>	
■ 使用教材(一部)	
<ul style="list-style-type: none"> ・書籍「もったいないばあさん」シリーズ 	

■単元内容

学習段階 時間	学習活動	教員の支援	備考(工夫した点・活用教材、 実際の様子など)
1 時間	<p>●本校では、よりよい学校生活をおくることができることを目標にシチズンシップ教育を行っている。1 年生では、学校探検を通してみつけたルールやきまりを伝え合あう 6 時間の単元を実施している。最終的に次の 1 年生に伝えたいきまりをまとめるという活動である。</p> <p>本時は「学校内のルールやきまり」を探す学校探検を行った後に、関連授業として実施した。</p>		
<p>身近な生活の中の「もったいない」を探し、気づいたことを先生や友達に伝え、「モノを大切にしよう」という考えに気づく。</p>			
	<p>●「もったいない」とは何かを考える。(8分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「もったいない」という言葉の意味を考える。 ・「もったいない」とは具体的にどのようなことなのか理解する。 ・授業のねらいを理解する。 <p>●学校の中、そのほかの場所の「もったいない」を考える。(12分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校探検の様子を思い出しながら、学校の中でどんなもったいないことがあるか考える。 ・そのほかの場所で、どんなもったいないことがあるか考える。 <p>●「もったいない」ことを先生、友達に伝える。(8分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えたことを友達に伝える。 ・気づいたことをワークシートに記入する。 	<p>みなさん、「もったいないという言葉は知っていますか?」と問いかけ、児童の発言をうながす。</p> <p><u>「もったいないとはどんなことかな?」</u>と問いかけ、書籍:もったいないばあさんを朗読する。</p> <p><u>「学校の中で何かもったいないことってあるかな?」</u>と問いかける。</p> <p>ワークシートを配布し、「もったいない」と感じたことを記入させる。</p> <p>※考えるのが難しそうであれば、<u>この前学校探検をして、いろいろなきまりやルールを発見したけど、そこで気づいたことはある? 普段先生がみんなに言っていることの中にはあるかな?</u>などと問いかける。</p> <p>ワークシートに記入したことをもとに、数名の児童に発表させ、意見を板書する。</p> <p>友達の発表を聞いて気づいたことがあれば、ワークシートに追記するよううながす。</p>	<p>★書籍「もったいないばあさん」シリーズ</p> <p>※導入をよりスムーズにするために、書籍を事前に提示する、学級文庫等に置いておくなどして興味をもたせる。</p> <p>普段から、給食の残菜を減らす、紙を再利用するなどの活動をしているため、比較的スムーズに導入できた。</p> <p>★ワークシート「もったいないをさがそう」</p> <p>紙を無駄にしない、給食は残さない、水をだしばなしにしないなどの「モノ」に対する考えだけでなく、時間を無駄にしない、お金を払っているのに習い事を休んでしまったなどの意見も出た。</p> <p>今回は時間の関係で、教師が数名の児童を指名し発表させるだけにとどまりましたが、グループ内で伝えあう、まとめ活動を行うことで、より気づきをうながし、理解が深まると感じた。</p>

学習段階 時間	学習活動	教員の支援	備考(工夫した点・活用教材、 実際の様子など)
	<p>●「もったいない」をなくすために、自分でできることを宣言する。(15分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考え、友達の発表をふまえて「もったいない」をなくすために、自分ができることを考える。 ・自分が実行することを宣言する。 <p>●学習をふりかえりまとめる。(2分)</p>	<p><u>「たくさんのもったいないに気づくことができましたね。ではこのもったいないをなくすために、みなさんができることは何でしょう？」</u>と問いかけ、考えたことをワークシートに記入させる。</p> <p>数名の児童を指名し、宣言を行わせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えたことを実行にうつす ・「もったいない」を常に意識する ・友達と声をかけあう <p>ことを伝え、学習をまとめる。</p>	<p>※その他の授業や学活等を通し、自身の考えをもつ⇒意見交流(伝え合い)⇒意思決定という言語活動のプロセスをできるだけ意識し経験させることで、より自分の考えを明確に持ち、行動につなげることができる。</p> <p>「これからは食べ物を残しません」「これからは物をなるべくすてずに大切にします」などの意見が出た。</p> <p>全員の宣言を掲示するなどすることで、さらに実行する意欲が高まると感じた。</p>

■授業を実施する上で工夫した点

- ・授業前から、普段の生活のなかで「もったいない」を意識できるような声かけを行うことでスムーズに授業に導入した。
- ・本の朗読や問いかけによって、児童が考える視点を明確にし、思考活動を支援した。
- ・他の授業を想起させる問いかけを行うことで、学習のつながりを意識させた。

■授業を受けた児童・生徒の感想

<もったいないをなくす宣言の内容>

- ・これからは食べ物を残しません
- ・これからは紙を大切にします
- ・これからは最後まで使います

<授業後の変化>

給食の時間に残さないように頑張ろうという態度が見られ、また図工の時間には、児童の方から「この紙はまだ使えるからとっておこう」などの発言があるなど、学びが定着し、考えたことを実行しようという意欲がうかがえました。

■先生ご自身の感想

子どもたちは私が思っている以上に、身近な生活の中のもったいないこと、無駄にしていることに気がつけていたのでびっくりしました。授業の後には、今後の生活をよりよくしていこうという意欲を持ち、早速給食を残さないようにしよう、時間を大切にしようという行動している子どもたちが頼もしく感じられ、授業を実施してよかったと素直に感じました。

エネルギー・環境に関する学習は3、4年生から具体的にはじまり、5、6年生で本格的にスタートするイメージでしたが、1、2年生で今回のような授業を実施し、「もったいない」「モノを大切に使う」気持ちを持ち、行動にうつす意欲を高めておくことで、3年生以降の学習の素地をつくり、より深い理解につなげることができると実感しました。1、2年でも身近な生活の中での気づきからスタートすることで、エネルギー・環境教育を十分に行うことができると思います。